

姫路市立ひめじスーパーアリーナ 施設概要

1 所在地

姫路市西延末450番地

2 開館時間

午前9時から午後9時まで

屋外附属プールは午前9時から午後5時まで

※ 夏季期間は午前9時から午後10時まで

3 休館日

12月28日から翌年1月4日まで

屋外附属プールは11月1日から翌年4月第4金曜日まで

4 構造等

構造：鉄骨造（一部、鉄筋コンクリート造） 敷地面積：約42,700㎡ 延床面積：約42,500㎡

5 施設の内容

【新体育館】

■ メインアリーナ

長辺67m×短辺40m×天井高約16m（2分割・3分割可）

固定観客席（2階）：約3,200席（うち車椅子席：40席）

移動観客席（1階）：約1,800席

床：フローリング 照明：LED

大型映像装置（約500インチ）2基

バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス各3面、

バドミントン12面、フットサル2面 等

■ 柔道・剣道場

柔道、剣道各4面、天井高約4.5m

固定観客席：約200席×2箇所

可動間仕切壁を採用しており、競技面8面の一体利用可能

■ 諸 室

選手控室4室、審判更衣室1室、来賓室4室、

本部役員室1室、技術統計記録室1室、プレス室1室、

放送室1室、会議室3室、特別観覧室6室 等

【屋内競技用プール（日本水泳連盟公認）】

■ 50m 温水プール

10レーン、可動床（水深0m～3m） 国内一般プールAA

固定観客席：約1,500席（うち車椅子席：16席）

仮設観客席：約1,000席の設置スペース有

大型映像装置（300インチ）1基

プール中央部の可動壁により25mプールを2面確保し、

それぞれ「25m公認プール」として使用できる

【屋外附属プール】

■ レジャープール

流れるプール、だんだん深くなるプール、森のスライダー 等



■ サブアリーナ

長辺46m×短辺25m×天井高約12.5m（2分割可）

固定観客席（2階）：約240席（うち車椅子席：4席）

床：フローリング 照明：LED

バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、

フットサル各1面、バドミントン4面 等

■ 弓道場

近的：10人立ち 審判員室、師範代室、練習室

固定観客席：約200席

遠的：6人立ち 審判員室、審判員控室

■ 卓球場

卓球台10台常設

■ その他

トレーニングルーム、多目的スタジオ、キッズルーム、

レストラン（約60席）、コンビニ、駐輪場（約200台分）

■ 25m 温水プール

8レーン、水深1.1m又は1.4m

固定観客席：約120席（うち車椅子席：8席）

■ 諸 室

選手招集室2室、審判更衣室1室、来賓室1室、

来賓控室1室、本部役員室1室、技術統計記録室1室、

プレス室1室、会議室5室、センサリールーム1室 等

■ 多目的広場

アウトドアリビングサイト（BBQ等）

【外観・内観イメージ】



鳥瞰図（新駅方面から望む）



鳥瞰図（山頂方面から望む）



メインアリーナ



50m温水プール



屋外附属プール



みんなの広場



新駅とつながる連絡通路



中央エントランス

※画像はイメージであり、今後の協議等により実際の内容とは異なる場合があります。

【魅力、特長】

① 多様なニーズに対応できるスポーツの拠点

- ・新体育館は、メインアリーナ、サブアリーナのほか、柔道場、剣道場、弓道場、卓球場を備えており各種競技に対応可能。
- ・メインアリーナは約5,000席規模の観客席があり、バレーボールの世界選手権やオリンピックの予選などの国際大会も開催できる。また、本市を拠点に活動するバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」のホームアリーナとなる予定で、年間約20試合の公式戦が開催される予定。
- ・屋内競技用プールは、50mプール、25mプールを備えており、50mプールは日本水泳連盟の公認（国内一般プールAA）を取得する予定（25mプールも同連盟公認を取得予定）。日本社会人選手権やジュニアオリンピックなど、国内主要大会に対応している。

② 手柄山平和公園の新たな玄関口

- ・令和8年春に開業予定の「手柄山JR新駅」と直結しており、新駅から本施設の中央エントランスまでは徒歩で約2分。
- ・新駅の改札階と本施設は屋根のある連絡通路で結ばれており、雨天でも濡れずに本施設を利用することが可能。

③ 子どもから高齢者まで様々な人が楽しめるレクリエーション空間

- ・トレーニングルームや多目的スタジオもあり、健康増進のための日常的な利用にも対応可能。
- ・屋外附属プールには、流れるプールやだんだん深くなるプールなど、子どもが楽しめるレジャープールがあるほか、7、8月はナイトプールとして夜10時まで営業し、子どもだけでなく、大人も楽しめる空間となっている。
- ・レジャープールに隣接する多目的広場は、アウトドアリビングサイトとしてバーベキュー等ができる。

○年間利用者数（想定）：新体育館：約20万人 屋内競技用プール：約12万人 屋外附属プール：約10万人

※ 既存施設（総合スポーツ会館等）や類似施設を参考に想定しています。

【位置図】

